



さお おやこ どくしょ
寒い冬休みに親子で読書をしてみませんか？



すずをならすのはだれ
あわなおこ ぶん
安房直子 / 文
さむ さむ しろ もり なか ちい
寒い寒い白い森の中、小さなお
すず な どうぶつ
うちの鈴を鳴らした動物たちは、
はる てっだ ゆき
春のせいのお手伝いをします。雪
した たね くさ
の下の種や草のためにはげまし
うた うた
の歌を歌います。



ゆうすげ村の小さな旅館
むら ちい りょかん
茂市久美子 / 作
もいちくみこ さく
ゆうすげ村で『ゆうすげ旅館』と
むら りょかん
いう小さな旅館を営むつぼみさ
ちい りょかん いとな
ん。そこへいろいろな人たちが
と 泊まりにきます。こんな旅館があ
りゃたらステキ！



てんぷらぴりぴり
にちじょう せいかつ そく まど・みちお
日常生活に即した題材の詩
おお えほん ゆうしやく
が多い絵本です。夕食のおかず
のてんぷらをあげる音を「ぴりぴ
り」と表現。ほかにも素敵な表現
がたくさんあります。



はな さき山
さいとうりゅうすけ さく
齋藤隆介 / 作
さい ちそう さんさい
10歳のあやは、ご馳走の山菜を
と 取りに行った山で、村人から恐
れられている“やまんば”と遭遇し
ます。「誰かを思って行動する」こ
この大切さが分かる本です。



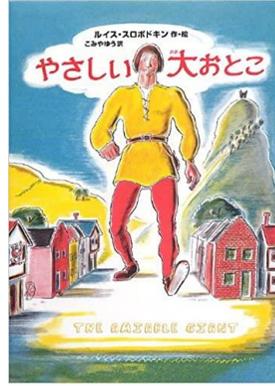
だてだてのおばあさん
さ の ようこ さく
佐野洋子 / 作
「だてわたしはおばあさんだか
ら。」が口ぐせのおばあさん。99
さい たんじょう び
歳の誕生日にろうそくがたりなく
て、おばあさんは5歳になりました
あたら せいかつ
た。新しい生活がはじまります。



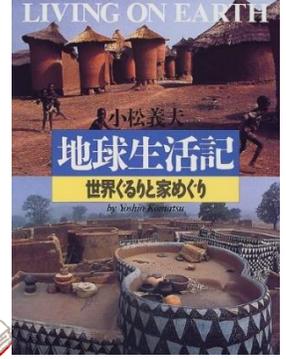
むしたちのさくせん
みやたけより お ぶん
宮武頼夫 / 文
「かくれんぼ作戦」や、「変身さく
せん」など、小さな虫たちが自分
の身を守るための一生懸命の
ち え しょうかい ほん
知恵を紹介している本です。



小さなペルツ
イリーナ・コルシュノフ / 作
そら きぶん
空をとぶって、すっごくいい気分
なんだ。いろんなことがあって、ち
よっぴり大きくなる小さなペルツ
のものがたり。



やさしい大おとこ
ルイス・スロボトキン / 作
やま うえ さく
山の上に住む大おとこが、ふもと
の村の人たちと友だちになりたい
おも とも
とおもってました。でも、声が大き
すぎて、村人は聞きとれません。



世界ぐるりと家めぐり
こまつよしお ぶん
小松義夫 / 文
模様のある家、鳩小屋つきの家、
みず うえ いえ ちちゅう いえ
水の上の家、地中の家、カラフル
だけどあちこちひび割れた家…。
いえ せかい さまざま
家を見ると世界の様々なことが
わかります。